

第5回中部MIS研究会 本会 報告書

平成28年3月26日 土曜日に名鉄犬山ホテル（愛知県犬山市）にて第5回中部MIS研究会を開催させて頂きました。年度末の慌ただしい時期にも関わらず、本会は医師32名、コメディカル8名の方々にご参加頂き、盛況のうちに終えることができましたことを報告させて頂きます。

一般演題は9題で、発表内容は前半にMISに関する様々な工夫や研究、貴重な症例提示など、後半には近年手術数が増加しているXLIF/OLIFに関する発表と、いずれも大変興味深いご発表と活発な質疑討論が行われ、臨床に役立つ有益な情報を沢山得ることができました。厳正な審査の結果、最優秀演題賞には江南厚生病院 整形外科 世木直喜先生の「D-O-LIF：腰椎側方固定術を最小侵襲で施行するための新たなアプローチ」が選ばれ、賞品が授与されました。

ミニレクチャーとして、高知医療センター 整形外科 時岡孝光先生に「頸椎 MIS -中下位頸椎から上位頸椎まで-」をご講演頂きました。時岡先生が開発・実践してきたMICEPS法の方法・工夫や利点などを詳しくご講義頂き、大変勉強になりました。

ランチョンセミナーでは、青森県立中央病院 整形外科 富田 卓先生に「病態に応じたMISによる脊椎疾患の治療戦略」というテーマでご講演いただきました。様々な病態に応じた手術方法の選択や、MISの特徴を生かした素晴らしい治療成果をお示し頂きました。さらに薬物療法や人口の高齢化など今後の社会問題まで網羅する幅広い内容で、大変有意義で興味深く拝聴致しました。

今回より共催がなくなったため財源不足の心配もありましたが、前日まで同会場で第10回日本CAOS研究会を開催された江南厚生病院 金村徳相副院長からの多大なるご配慮とご支援を賜り、無事開催することができました。この場をお借りしてそのご厚情に深謝申し上げます。また、今回から抄録集を作成して広告収入を得るようにし、従来通り器械展示もお願いしてご協賛を、そして当日は各社より労務提供でのご協力も頂きました。改めて、本研究会の趣旨にご賛同を頂きました多くの企業の皆様に心より感謝申し上げます。

最後になりましたが、第5回中部MIS研究会にご参会頂いた皆様、そして準備から当日まで大変お世話になりました事務局スタッフに御礼を申し上げます。

第5回中部MIS研究会

当番幹事 高津哲郎
岐阜県立多治見病院 整形外科

